

令和6年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

永年にわたり、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績が認められた公益財団法人秋田県スポーツ協会から推薦を受けた8名が受賞しました。

赤坂 芳子（秋田市 新体操コーチ3）

高校教員として30年以上、新体操の普及・競技力向上に努め、各種全国大会において活躍する選手を輩出するなど、主に高校生の育成・強化に尽力した。また、秋田県体操協会・東北体操協会技術委員長、常任理事を歴任し、新体操競技の発展に多大な貢献をした。

豊嶋 浩一（秋田市 水泳コーチ4）

永年にわたり、秋田県水泳連盟の競泳強化責任者として各カテゴリーの強化にあたりるとともに、国体の監督やコーチを務めるほか、2005年には日本水泳連盟日本代表コーチとして、ニュージーランド遠征に帯同するなど、その手腕は高く評価されており、競泳の普及・強化に大きく寄与した。

佐々木 もと子（にかほ市 ジュニアスポーツ指導員）

永年にわたり、にかほ市リーダー会スポーツ少年団代表指導者として、スポーツ少年団活動の普及や活性化に尽力しているほか、リーダーの育成にも力を注いでいる。また、秋田県スポーツ少年団副本部長や日本スポーツ少年団常任委員なども務め、スポーツ少年団の発展に大きく貢献した。

藤谷 弘志（大仙市 ジュニアスポーツ指導員）

大仙市スポーツ少年団本部長や秋田県スポーツ少年団常任委員を歴任し、子どもたちが安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりに貢献した。1980年に少林寺拳法スポーツ少年団を結成し、少林寺拳法の教え「半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを」を実践しながら全国大会へ多くの選手を輩出し、現在も幅広い世代への指導に尽力している。

藤田 芳哉（潟上市 カヌーコーチ3）

約40年にわたり、カヌースラローム競技の普及、選手強化・育成に尽力しているほか、国体の監督を永く務め、天皇杯・皇后杯の得点獲得に大きく貢献している。また、県カヌー協会をはじめ、秋田市や仙北市カヌー協会において組織の発展・充実に大きく寄与している。

明石 渉（大館市 ラグビーフットボールコーチ3）

高校教員として、県北地区のラグビーフットボールの普及育成・競技力の向上に努め、国体において活躍する選手を輩出するなど、主に高校生の指導育成に尽力している。また、国体少年のコーチ・監督、東北高体連専門部のコーチ・総務等を歴任し、秋田県や東北のラグビーフットボールの発展に多大な貢献をしている。

佐藤 功美（由利本荘市 セーリングコーチ1）

県内で唯一ヨット部がある本荘高校で、約30年にわたりコーチを務めているほか、秋田県セーリング連盟の選手強化責任者及び国体監督として永年にわたり成年・少年すべての種目の強化に尽力するなど、秋田県のセーリングスポーツの発展と普及に大きく寄与している。

土佐 信直（秋田市 フェンシングコーチ3）

フェンシングのクラブチームのコーチとして約30年にわたり、小・中学生のみならず高校生や社会人の指導をしており、各カテゴリーの全国大会、国民スポーツ大会や国際大会などで活躍する選手を数多く輩出している。また、秋田県フェンシング協会常任理事などを歴任し、後進の育成やフェンシングの普及啓発に力を注いでいる。